

## 「気候変動を踏まえた浸水対策検討部会」の設置について

### 1 趣旨

近年、気候変動の影響により全国各地で毎年のように浸水被害が発生しています。さらに、国からは、短時間強雨（1時間あたり 50 mm以上の降雨）の発生件数が現在の2倍以上に増加する可能性や、2040年に世界の平均気温が2℃上昇した場合の降雨量が現在の1.1倍に増加する予測が示されています。

市民の安全安心を将来にわたって確保するため、新たな浸水対策プランの策定を進めているところですが、プランで定める浸水対策の目標、整備優先度の考え方などを客観的かつ専門的な視点から判断する必要があると考えています。つきましては、条例に基づく横浜市の附属機関であり、下水道事業の課題をご審議いただく下水道事業経営研究会においてご審議いただきたいと考えており、浸水対策という専門的事項であることから、審議にあたっては「気候変動を踏まえた浸水対策検討部会」の設置をお願いいたします。

### 2 部会名

気候変動を踏まえた浸水対策検討部会

### 3 委員構成（案） ※委員、専門委員は五十音順

委員：加藤 裕之氏（東京大学大学院 工学系研究科特任准教授）

専門委員：石川 永子氏（横浜市立大学国際教養学部 都市学系 准教授）

専門委員：森田 弘昭氏（日本大学生産工学部土木工学科 教授）

### 4 主な審議内容

- (1) 浸水対策の目標に関すること
  - ・ハード対策とソフト対策の新たな目標の設定
- (2) 整備優先度の考え方に関すること
  - ・ハード対策の効率的な進め方
- (3) その他、浸水対策に関する専門事項を調査研究及び審議させるため研究会が必要と認めた事項

### 5 検討部会の予定（案）

	日程	審議事項
第1回検討部会	令和5年6月上旬	浸水対策プラン策定の背景、浸水対策の目標
第2回検討部会	令和5年7月上旬	整備優先度の考え方
第3回検討部会	令和5年8月下旬	浸水対策プラン（素案）

### 6 検討部会の運営（案）について

資料3「気候変動を踏まえた浸水対策検討部会設置運営要綱（案）」のとおり